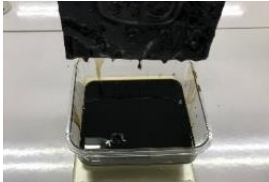
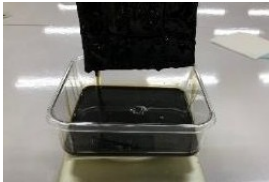
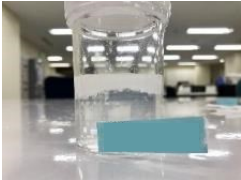


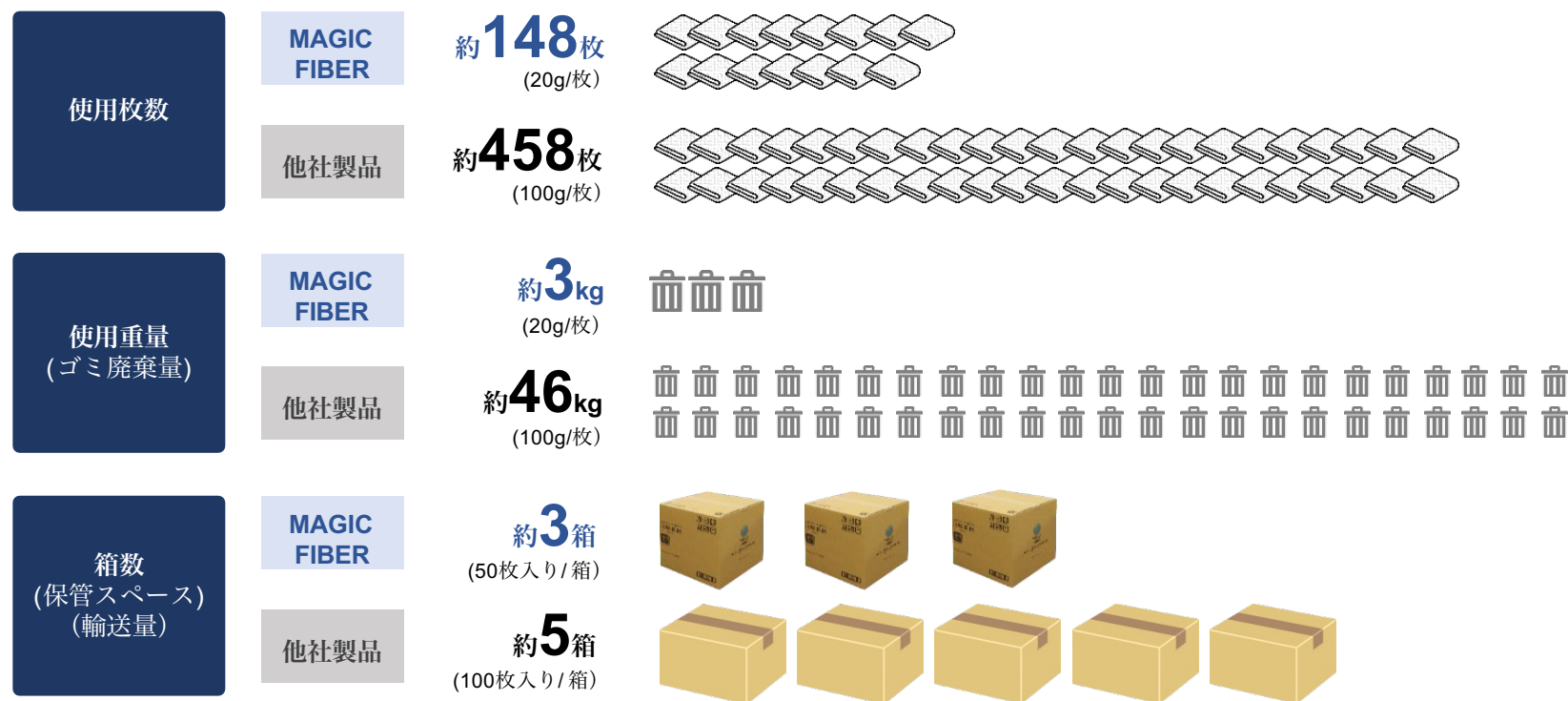
油吸着材の製品比較

*各メーカー公表値及び自社調べ

比較項目		A社	B社	C社	エム・テックス マジックファイバー
吸着力	自重	約15倍	約11倍	約12.5倍	約50倍
	吸着量 (吸着材20gあたり)	300g	220g	250kg	1000g以上
保持力	実測値	保持力なし・垂れる	保持力なし・垂れる	保持力なし・垂れる	保持力あり・ 持ち上げても垂れない
	保持比較 吸着材5g・廃油 100g吸着後、持上 げて 60秒後計測				
	垂れた油の割合	吸着量の約33%以上	吸着量の約30%以上	吸着量の約35%以上	0%
吸水性	実測値	水をよく吸う	水をよく吸う	水をよく吸う	水は吸わない
	吸水比較 容器内で60 秒水と攪拌後 計測				
	吸水率	半分以上水に浸かっている 約50%以上	半分以上水に浸かっている 吸着量の約40%以上	半分以上水に浸かっている 吸着量の約40%以上	水に浮いたままの状態 0%

油吸着材の実質使用量比較

1バレル分の油吸着の場合



自社調べ

*代表的な他社製品とドラム缶1本分（油の比重0.93・200ℓ＝186kgと想定）の水に混じった油を吸着する場合の比較。油の種類や計測方法などの条件によって結果が異なります。

1. 電力業界・電力設備



[用途]

- ✓ 変電設備や電力ケーブル内の絶縁油の回収に使用
- ✓ 污水处理時に沈殿物から浮き出た油の処理
- ✓ 油流出時の緊急用備蓄品

変電・発電・中継基地等の電力設備や、新規製造製造工場などで、大量の油を使用。メンテナンスや解体、新設で発生する油の回収時に吸着材を使用する。

大型のケーブルにも油を使用しており、メンテナンスや交換時には必ず油が発生する為、油吸着材を使用する。



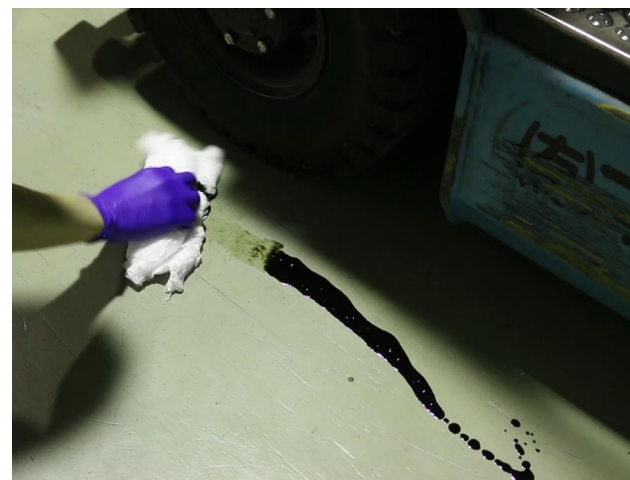
2. 工場・機械整備用



[用途]

- ✓ 飛び散った機械油や潤滑油のふき取り
- ✓ 床やテーブルに敷き、油が付着した工具の置き場として使用
- ✓ 冷却液や洗浄液の表面に浮かんだ油の回収

工場で稼働する機械から飛散する油や潤滑油の処理や、工場に設置された油水分離層の浮上油の回収に利用できる。作業中に油が床や作業台に飛散した場合は、油吸着材を用いて迅速に拭き取り、作業エリアを清潔に保つ。



3. 製造業



[用途]

- ✓ 機械下に漏れた油の受け皿として使用
- ✓ 工具や金型などに付着した油をふき取る
- ✓ 港湾にある製造工場では、流出防止用の備蓄品として利用

機械のオーバーホールや定期点検の際に漏れ出す潤滑油や切削油を迅速に吸収するため、油吸着材を機械の下に敷き、漏れた油を効率的に処理。

また、工場から側溝や河川、海に漏れてしまった場合の油回収用としての備蓄にも使用できる。



4. 金属加工



[用途]

- ✓ 機械使用時に漏れた切削油の回収
- ✓ 金属部品や金属板に付着した油のふき取り(ウエスの代わり)
- ✓ 設置されている油水分離層で使用

加工された金属部品や金属板には切削油が付着しており、これらの部品を次の工程に進める前に、油吸着材を用いて拭き取る。通常はウエスを使用して拭き取るが、マジックファイバーを使用した場合、従来30分かかっていた拭き取り作業が10分以内で終わるなど、作業効率が向上した。



5. 機械メンテナンス



【用途】

- ✓ エスカレーターなどメンテナンス時に使用
- ✓ 周囲に飛散した油をふき取るのに利用
- ✓ 潤滑油などが使用中に漏れないように下に敷く

エレベーターやエスカレーターなどのメンテナンス時に、油吸着材を使用して、機械部品や周囲の表面から漏れた油を効果的に吸着し、清掃する。

また、メンテナンス後に使用済みの潤滑油や機械油を処理する際、油吸着材を使用して廃油を吸収し、適切に処分できる。



6. 自動車整備



[用途]

- ✓ エンジンオイル交換時やエンジンのメンテナンス中に漏れたオイルを吸着
- ✓ 油圧システムのホースやシリンダーの修理中に漏れた油を吸着
- ✓ 交換した廃油の処理・廃棄用に使用

自動車整備工場では、エンジンオイルやブレーキフルードの漏れ対策、トランスミッションオイルや冷却液の管理、油圧システムやオイルフィルターの交換時の漏れ防止、作業エリアの安全確保、タンクやドラムからの漏れ対策など、さまざまなシーンで油吸着材が使用される。

